

支えあいが育む・地域の和

ふれあい馬宮

2021年 1月号
(通巻 第55号)

発行

馬宮地区社会福祉協議会
西区西遊馬 533-1
TEL&FAX 048-626-2766
ホームページアドレス
<http://mamiya-shakyo.com/>



特集 高齢者ケア・ネットワーク

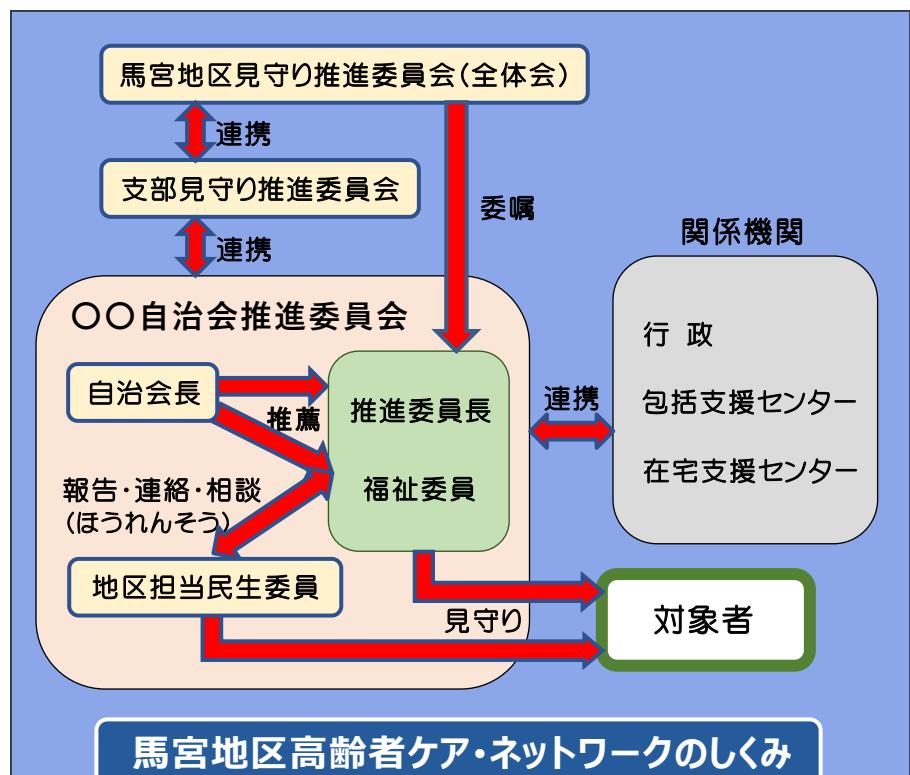
地域で見守りが必要な理由

コロナ禍における活動実態アンケート結果

守りが必要な理由

立ち上げから10年

わけ



高齢者の声



- ・誰とも会話をしない日がある
- ・精神的に不安がある
- ・情緒不安定だ
- ・人と接するのが苦手



- ・足腰が悪いので、行事やサークル活動に参加したくてもできない
- ・近所に集える場所があるとよい



- ・サロンで皆と会うのが楽しみ
- ・サロンに参加すると元気が出る



- ・夜、眠れない
- ・炊事や家事が大変
- ・孤独感を感じる
- ・話し相手や仲間が欲しい
- ・認知症や健康が心配



- ・年金暮らしで生計が不安
- ・いきがいや目標が持てない
- ・災害時の避難等が不安

みんなに届け!! 福祉委員さんの想い

平成22年、馬宮地区高齢者ケア・ネットワーク立ち上げから、常にその中心にいて活動されている福祉委員さんたちに話を聞きました。

「苦労とは思わないが、年々増える見守り対象者に対し、福祉委員が不足している」「見守る側の高齢化や後継者がなかなか育つてこないこと」

◆やりがいを感じることは?

「ありがとうの言葉をもらつた時」「元気な顔や笑顔を見た時」

◆活動をしていての感想は?

「急増する高齢者に行政や地域と連携・具体的な対策が早急に必要だ」

「高齢者から逆に元気や張をもらつて」「近隣同士のお互いを見守り支え合う関係が災害にも容易に対応できるのでは」

「自治会や地域住民にもっと高齢者や見守りに关心を持ち、共助の大切さを実感して欲しい」

「サロンを中心にはがつていいと思う。地域にサロンがもつと沢山あると良い」

「サロン参加者が増え、接待する側にも多くの人が関わるようになれば素晴らしい」

「明日は我が身。福祉委員制度が出来たことはとても心強く安心」



回答を寄せてくれた福祉委員

あなたは知っていますか？ 馬宮地区の現状

民生委員実態調査より

馬宮地区人口	14,884 人
65 歳以上高齢者数	4,900 人
高齢化率	33% (さいたま市 23%)
高齢者のみ世帯	630 世帯余
独居世帯	500 世帯余
日中独居世帯	120 世帯余

2019 年 1 月現在



写真で振り返る活動



個人情報保護法講習会



認知症研修会



グループ討議



福祉委員任命式



支部出前サロン

めざせ お互いさまの地域づくり

地域で高齢者の見

馬宮地区見守り推進委員会

誰もが、慣れ親しんだこの地域で安心して歳を重ねていきたいと願っています。

しかし介護・認知症・貧困・虐待などの問題を数多く抱え、孤独死や孤立死があるのもまた現実です。

行政を頼っているだけでは問題解決にならず、お互いさまの地域づくりを目指し始まつたのが「馬宮地区見守り推進委員会」です。

現在、馬宮地区では自治会ごとに福祉委員を設置し、その地区に見合つた見守り活動が行われています。

見守りは見張りじゃない!!

うな見守り活動を実施しているのか、福祉委員とは何なのかご存知ですか。

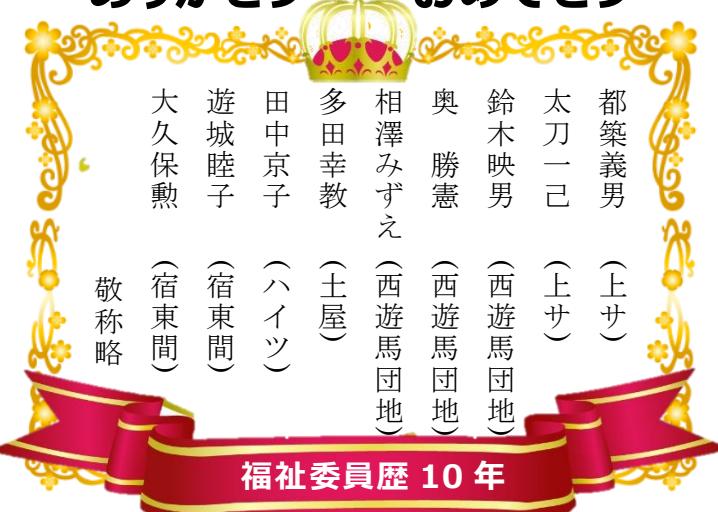
福祉委員とは、高齢者への声掛けやお宅訪問をして、話し相手になつたりスタッフとしてサロンのお手伝いをするなど「頼りになる地域の高齢者見守り隊」です。

見守り当初は面倒くさいと思っていた高齢者も、今では訪問日が待ち遠しいとのことです。

そして大切なのは見守りは見張りではないということです。双方の理解と信頼の基に行われるのが真の見守り活動と呼べるものです。

社会福祉大会表彰

ありがとう おめでとう



都築義男
太刀一己
(上サ)

鈴木映男
奥勝憲
(上サ)

相澤みづえ
(西遊馬団地)

(西遊馬団地)

田中京子
遊城睦子
大久保勲
(ハイツ)
(宿東間)
(宿東間)

多田幸教
(土屋)
(ハイツ)
(宿東間)

田中京子
(ハイツ)
(宿東間)

(土屋)
(ハイツ)
(宿東間)

敬称略

福祉委員歴 10 年

With コロナへの対応状況調査(アンケート結果)



感染予防豆知識

- ①1時間に1回の換気
 - ・対角線上の窓を開ける
- ②加湿をして部屋の乾燥を防ぐ
- ③マスクを正しく装着する
 - ・表裏を間違えない(ひだが下向き)
 - ・鼻部分のワイヤーを曲げ顔に密着させる
 - ・顎をしっかりと包むように覆う
- ④ハンドソープやアルコール消毒は30秒以上かけて行う
- ⑤ビタミンDを摂り自己免疫をつける
 - ・太陽光を浴びる
 - ・青魚やキノコ類を摂る

ご存知?

馬宮地区の活動状況把握および各団体の活動決定基準になれば、昨年10月に調査・集計した結果、約90団体からの回答がありました。今、またコロナ感染の第3波が寄せているところですが、各団体の活動の参考になればと思います。

馬宮地区の活動状況把握および各団体の活動決定基準になれば、昨年10月に調査・集計した結果、約90団体からの回答がありました。今、またコロナ感染の第3波が寄せているところですが、各団体の活動の参考になればと思います。

コロナ禍で長引く自粛生活により、コミュニケーション不足や体力低下(特に高齢者)のフレイル化)・うつ等の問題が発生しています。また、新しい生活様式で活動しているとは言え、数々の支障が出ている事と推測されます。

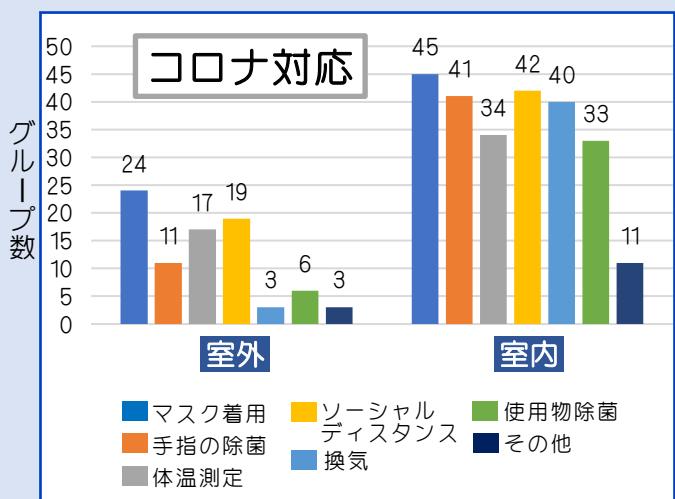
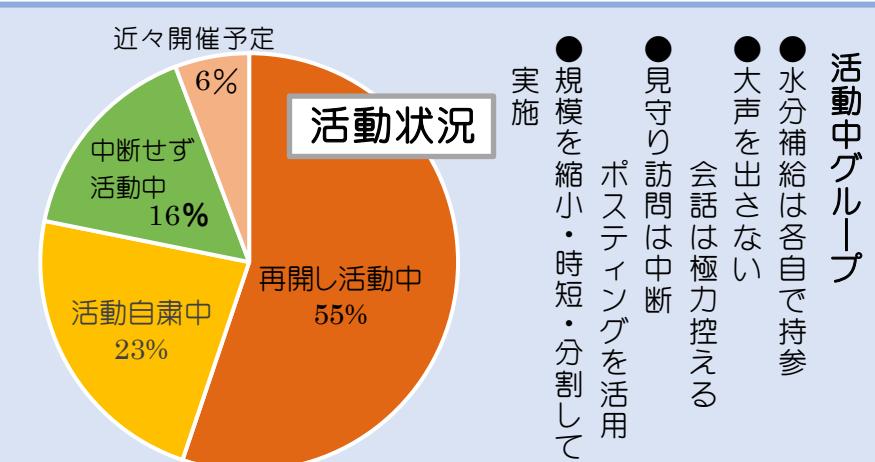
ボランティア体験と郷土の歴史を知る



11月29日(日)、土屋中学校の田村校長先生と三年生22名が、「上江橋ウォーキングクリーンの会」と共に活動後、郷土の歴史を学びました。

外出をためらう時が来るなんて誰も考えていないかったと思います。家の中で過ごす孤独。外出といえばまとめて買いに行くスーパー、散歩、家庭菜園。知り合いに会って長話もできない。こんな時は早く無くしたいもの。今年こそより良い年になるよう、みんなで頑張りましょう。

編集後記



令和2年度 募金等実績

日赤募金	¥ 599,000
赤い羽根共同募金	¥ 1,010,750
歳末助け合い募金	¥ 481,692
社会福祉協議会 賛助会費	¥ 1,208,400

今年度は馬宮地区老人クラブ協議会様からも歳末助け合い募金を頂きました

◆会食ボランティア(15年)	馬宮地区社協からも4人が表彰されました。
◆地区社協理事(18年)	川添修司
◆会食ボランティア(15年)	新井秀子 石森弘子
◆会食ボランティア(15年)	伊藤三代子 敬称略

社会福祉大会 令和2年度